

1 品種登録の番号及び年月日 第29397号 令和4年9月6日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. あきあかね

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は半立、出穂期は晩、柱頭の色は白、稈の太さは中、稈の長さ（浮稲品種を除く。）は中、穂の主軸の長さは中、穂数は中、芒の有無は無、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸の一部も概ね抽出、成熟期は晩、穎の色は黄白、護穎の色は黄白、粳の千粒重はやや大、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重は中、玄米の長さは中、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、胚乳のアミロース含量は6型、玄米の香りは無又は極弱、穂発芽性はやや難、耐倒伏性は中、脱粒性は難、いもち病抵抗性推定遺伝子型はPii, Pik、葉いもち病抵抗性は中、穂いもち病抵抗性は中である。

出願品種「あきあかね」は、対照品種「いただき」と比較して、稈の長さ（浮稲品種を除く。）が中であること、成熟期が晩であること、耐倒伏性が中であること等で区別性が認められる。対照品種「みずほの輝き」と比較して、芒の有無が無であること、耐倒伏性が中であること、いもち病抵抗性推定遺伝子型がであること等で区別性が認められる。対照品種「日本晴」と比較して、芒の有無が無であること、いもち病抵抗性推定遺伝子型がであること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

前田英郎 笹原英樹 三浦清之 山口誠之 後藤明俊 重宗明子
長岡一朗 松下景

7 出願公表の年月日 平成30年5月21日

8 登録品種の育成の経過の概要

「収7388」に「中部109号」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
あきあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	
14 葉身の幅	
15 初期の止め葉の姿勢	03 半立
16 後期の止め葉の姿勢	03 半立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.
あきあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	07 晩
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	05 中
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	05 中
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	05 中
31 穂数	05 中
32 芒の有無	01 無
33 初期の芒の色	
34 芒の分布	

Oryza sativa L.
あきあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	07 穂軸の一部も概ね抽出
44 成熟期	07 晩
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	

Oryza sativa L.
あきあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	06 やや大
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	05 中
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	06 6 型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	07 完全崩壊
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.
あきあかね

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 7 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	
70 穂発芽性	06 やや難
71 耐倒伏性	05 中
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	Pii, Pik
74 葉いもちほ場抵抗性	05 中
75 穂いもちほ場抵抗性	05 中
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	06 やや強
85 着粒密度	

1 品種登録の番号及び年月日 第29398号 令和4年9月6日

2 登録品種の属する農林水産植物の種類及び登録品種の名称

Oryza sativa L. 恋初めし (コイメシ)

3 登録品種の特性の概要

葉の緑色の濃淡は中、葉耳のアントシアニン着色の有無は無、初期の止め葉の姿勢は立、出穂期はやや晩、柱頭の色は白、稈の太さはやや太、稈の長さ（浮稲品種を除く。）は中、穂の主軸の長さはやや長、穂数はやや少、芒の有無は有、初期の芒の色は黄白、芒の分布は先端のみ、最長芒の長さは極短、外穎の毛じは中、外穎先端の色は白、穂の主軸の湾曲度は垂れる、穂型は紡錘形、穂の抽出度は穂軸の一部も概ね抽出、成熟期はやや晩、穎の色は黄白、護穎の長さはやや長、護穎の色は黄白、粳の千粒重はやや大、穎のフェノール反応の有無は無、玄米の千粒重はやや大、玄米の長さは中、玄米の幅は中、玄米の形は長円形、玄米の色は淡褐、胚乳の型は粳、胚乳のアミロース含量は5型、玄米の香りは無又は極弱、脱粒性は難、葉いもちほ場抵抗性は中、穂いもちほ場抵抗性は強、白葉枯病ほ場抵抗性は中、しま葉枯病抵抗性品種群別は外国稲型（Stvb-i）、高温登熟性はかなり弱である。

出願品種「恋初めし」は、対照品種「ふじの舞」と比較して、最長芒の長さが極短であること、成熟期がやや晩であること等で区別性が認められる。対照品種「恋の予感」と比較して、出穂期がやや晩であること、稈の長さ（浮稲品種を除く。）が中であること、高温登熟性がかなり弱であること等で区別性が認められる。対照品種「ヒノヒカリ」と比較して、玄米の千粒重がやや大であること、穂いもちほ場抵抗性が強であること、しま葉枯病抵抗性品種群別が外国稲型（Stvb-i）であること等で区別性が認められる。

4 育成者権の存続期間 25年

5 品種登録を受ける者の名称及び住所又は居所

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
茨城県つくば市観音台三丁目1番地1

6 登録品種の育成をした者の氏名

重宗明子 出田収 中込弘二 石井卓朗 松下景 飯田修一

7 出願公表の年月日 平成30年8月14日

8 登録品種の育成の経過の概要

「あきだわら」に「恋の予感」を交配し、選抜したものである。

Oryza sativa L.
恋初めし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
01 しょう葉のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
02 基部葉の葉しょうの色	01 緑
03 葉の緑色の濃淡	05 中
04 葉のアントシアニン着色の有無	01 無
05 葉のアントシアニン着色の分布	
06 葉しょうのアントシアニン着色の有無	01 無
07 葉しょうのアントシアニン着色の強弱	
08 葉身表面の毛じ	05 中
09 葉耳のアントシアニン着色の有無	01 無
10 葉の襟のアントシアニン着色の有無	01 無
11 葉舌の形	03 裂形
12 葉舌の色	01 無色
13 葉身の長さ	06 やや長
14 葉身の幅	04 やや狭
15 初期の止め葉の姿勢	01 立
16 後期の止め葉の姿勢	01 立
17 稈の向き	03 半立

Oryza sativa L.

恋初めし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
18 稈のひざまずきの有無（浮稲品種に限る。）	
19 出穂期	06 やや晩
20 雄性不稔性	01 無
21 初期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
22 初期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
23 初期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
24 柱頭の色	01 白
25 稈の太さ	06 やや太
26 稈の長さ（浮稲品種を除く。）	05 中
27 稈の節のアントシアニン着色の有無	01 無
28 稈の節のアントシアニン着色の強弱	
29 稈の節間のアントシアニン着色の有無	01 無
30 穂の主軸の長さ	06 やや長
31 穂数	04 やや少
32 芒の有無	09 有
33 初期の芒の色	01 黄白
34 芒の分布	01 先端のみ

Oryza sativa L.

恋初めし

登 録 番 号

登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部

第 2 9 3 9 8 号

重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
35 最長芒の長さ	01 極短
36 外穎の毛じ	05 中
37 外穎先端の色	01 白
38 後期の芒の色	01 黄白
39 穂の主軸の湾曲度	03 垂れる
40 穂の二次枝梗の有無	09 有
41 穂の二次枝梗の型	02 2型
42 穂型	02 紡錘形
43 穂の抽出度	07 穂軸の一部も概ね抽出
44 成熟期	06 やや晩
45 葉の枯れ上がりの時期	07 晩
46 穎の色	01 黄白
47 穎の模様	01 無
48 後期の外穎のキールのアントシアニンの着色	01 無又は極弱
49 後期の外穎頂部下のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
50 後期の外穎頂部のアントシアニンの着色	01 無又は極弱
51 護穎の長さ	06 やや長

Oryza sativa L.
恋初めし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
52 護穎の色	01 黄白
53 粳の千粒重	06 やや大
54 粳の長さ	05 中
55 粳の幅	05 中
56 穎のフェノール反応の有無	01 無
57 穎のフェノール反応による着色の濃淡	
58 玄米の千粒重	06 やや大
59 玄米の長さ	05 中
60 玄米の幅	05 中
61 玄米の形	02 長円形
62 玄米の色	02 淡褐
63 胚乳の型	03 粳
64 胚乳のアミロース含量	05 5型
65 胚乳の色	02 白色半透明
66 精米のアルカリ崩壊性	07 完全崩壊
67 玄米の香り	01 無又は極弱
68 低温発芽性（陸稲品種に限る。）	

Oryza sativa L.

恋初めし

登 録 番 号 登 録 品 種 の 植 物 体 の 特 性 記 録 部 第 2 9 3 9 8 号	
重 要 な 形 質	重要な形質に係る特性
69 障害型耐冷性	
70 穂発芽性	
71 耐倒伏性	
72 脱粒性	07 難
73 いもち病抵抗性推定遺伝子型	Pia, Pii
74 葉いもちほ場抵抗性	05 中
75 穂いもちほ場抵抗性	07 強
76 白葉枯病抵抗性品種群別	
77 白葉枯病ほ場抵抗性	05 中
78 しま葉枯病抵抗性品種群別	03 外国稲型 (Stvb-i)
79 ツマグロヨコバイ抵抗性品種群別	
80 トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型	
81 精玄米の心白の発現（酒米品種に限る。）	
82 グルテリン含量	
83 カドミウム吸収性	
84 高温登熟性	02 かなり弱
85 着粒密度	